

シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
古典B	2	2	必修	全学科	

1. 科目概要および目標

内容：「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。

目標：古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 成績評価

定期考査、実力テスト、小テスト等のテスト点に、ワークシートや課題の提出物等の学習状況を加味して成績評価をする。

3. 使用教科書・教材

『精選古典B』（第一学習社）（第2学年では古文編第I章・漢文編第II章を扱う。）

『基礎から学ぶ解析古典文法』『例文による漢文の習得』『カラー版 新国語便覧』

『改訂版わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330』『漢文基本ノート』

4. 授業の展開と形態

原則として一斉授業。必要に応じてグループ活動等を行う。

内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

5. 学習方法

- ・ 語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。
- ・ 本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきましょう。口語訳まで自分で予習するよることを習慣化しましょう。
- ・ 学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・ノート・ワークシート等確かめながら学習内容を整理すること。特に古文の文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。

年 間 授 業 計 画

評価の観点					
a. 関心・意欲・態度	b. 読む能力	c. 知識・理解			
古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。			
職	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c
1	古本説話集	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い説話を読んで古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 	○	○	○
1	十訓抄	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い説話を読んで古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。 	○	○	○
1	古今著聞集	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い説話を読んで古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・有名な和歌を含む説話を読んで、和歌や和歌説話の特質を考える。 	○	○	○
2	故事・寓話	<ul style="list-style-type: none"> ・短めの文章を読んで漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・否定・仮定・使役・疑問・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 	○	○	○
2	言語活動 故事成語の意味の 違いを調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、故事成語とそのもとになった故事や逸話に関心を持つ。 ・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ・漢和辞典・副教材・図書館資料やインターネットを主体的に利用する。 ・故事成語のもとになった故事と、現在使われている意味について理解する。 	○	○	○
3	竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話としてなじみのある作品を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞について理解する。 	○	○	○
1	言語活動 『今昔物語集』と の読み比べ	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ題材を取り上げた文章を読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○
4	伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・助動詞について理解する。 	○	○	○

5	古代の史話	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的短めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・疑問・反語・否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 	○	○	○
3	徒然草	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・引用された漢籍について理解し、日本文化と中国文化の関係について考える。 ・助動詞について理解する。 	○	○	○
3	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 	○	○	○
1	言語活動 貴族の生活と年中行事	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、古典に表れる貴族の生活と年中行事に関心を持つ。 ・大卒の課題の中から自ら課題をしばりこんで調べる。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料・インターネットなどを主体的に利用する。 ・地域の資料や施設を主体的に活用する。 	○	○	○
2	万葉集	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『万葉集』の時代の表現・語法上の特色を理解する。 ・句切れやリズムに注意して和歌を朗読する。 	○	○	○
2	古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『古今和歌集』の時代の表現上の特色を理解する。 ・句切れやリズムに注意して和歌を朗読する。 	○	○	○
2	新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『新古今和歌集』の時代の表現上の特色を理解する。 ・句切れやリズムに注意して和歌を朗読・暗誦する。 	○	○	○
3	漢詩の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の表現の美しさを味わう。 ・漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉える。 ・漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	○	○	○

		<ul style="list-style-type: none"> ・限定・疑問・否定・禁止・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。 	○	○	○
3	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助詞・助動詞について理解する。 	○	○	○
1	言語活動 現代語との意味 の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについてわかったことを報告する。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・辞書や図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○
3	不思議な世界	<ul style="list-style-type: none"> ・少々長い文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・疑問・受身・限定・使役・否定・反語・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国人の発想のおもしろさに触れる。 ・六朝志怪と唐代伝奇について、その特徴を知り、中国における小説の芽生えと成長について考える。 	○	○	○
2	言語活動 換骨奪胎	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、中国文学と日本文学の関わりについて考える。 ・文学作品に投影された時代と作者の思想性について理解する。 ・記録から創作への変遷について理解する。 	○	○	○
3	更級日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解する。 	○	○	○
1	建礼門院右京大 夫集	<ul style="list-style-type: none"> ・日記的家集を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・和歌にこめられた作者の思いを読み取る。 	○	○	○
5	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・中世の敬語や語彙に慣れ親しむ。 ・音便や挿入句といった、語り物の特色について理解する。 	○	○	○
1	義経記	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・中世の敬語や語彙に慣れ親しむ。 ・義経や忠信が他の文学作品や伝説にも登場することに興味を持つ。 	○	○	○
6	項羽と劉邦	<ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 	○	○	○

		<ul style="list-style-type: none"> ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・禁止・反語・仮定・疑問・抑揚・否定・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・歴史の中の人間について考える。 	○	○	○
7	諸家の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の主要な思想である儒家・道家・法家の主張の概要を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・感嘆・反語・疑問・否定・限定・比較などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から、現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 	○	○	○
2	言語活動 孔子と老子	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、孔子と老子の思想の違いについて関心を持つ。 ・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料・インターネットなどを主体的に利用する。 	○	○	○